

Q1 調査対象となっているお子さんの昨年度の学校名と学年を教えてください。  
 学校名：新潟市立 \_\_\_\_\_ 学校 第 \_\_\_\_\_ 学年(注意：現在、小学2年の場合は第1学年と記入)

Q2 昨年度のあなたの世帯構成、各世帯員の年齢と収入を教えてください。  
 ・関係区分は該当する番号に○をし、年齢は平成29年4月2日現在の年齢を記入してください。  
 ・収入がある場合は、昨年(平成29年)の収入金額を該当する収入の種類ごとに記入してください。  
 ・ただし、農業などの事業収入は、必要経費を差し引いた金額としてください。

関係区分	年齢	収入
1. 父		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)、3. 公的年金( 万円)
2. 母		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)、3. 公的年金( 万円)
3. 祖父		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)、3. 公的年金( 万円)
4. 祖母		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)、3. 公的年金( 万円)
5-1. 第1子		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)
5-2. 第2子		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)
5-3. 第3子		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)
5-4. 第4子		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)
5-5. 第5子		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)
6-1. その他1		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)、3. 公的年金( 万円)
6-2. その他2		0.なし、1.給与( 万円)、2.事業等( 万円)、3. 公的年金( 万円)
合計__人家族		

Q3 あなたの住んでいる家は「持ち家」ですか「借家」ですか？  
 (一つに○、借家の場合は月当たりの家賃も記入)  
 1.持ち家 2.借家(月 \_\_\_\_\_ 円)

— お子さんの学習費への負担感や就学援助についてお聞かせください —

Q4-1 学習費についてお聞きします。次の経費の中で負担と感じているものは何ですか？  
 (説明内容を読んで、該当する経費区分の番号に○をしてください。複数回答可、ただし、全ての経費について負担と感じない場合は、「4. 負担と感じない」に○をしてください)

経費区分(回答欄)	説明
1. 学校教育費	学校教育のために家庭が支出する経費で、修学旅行費や学級費、PTA 会費、ドリルなど学校が一律に徴収する経費やクラブ活動の遠征費などです。
2. 学校外活動費	学校教育費以外で、習い事や学習塾の月謝など主に家庭教育に必要な経費です。
3. 学校給食費	学校給食の負担経費です。中学校でのスクールランチの経費も含まれます。
4. 負担と感じない	

Q4-2 具体的な経費に対する負担感についてお聞きします。  
昨年度、調査対象のお子さんに向けた各学習経費の負担感の強さを1から5までのレベルの中から選択し○をしてください。  
 ただし、「学習塾に行っていない」など、そもそも負担していない経費については、○をつけなくてください。

※回答欄のレベルの説明  
 1=まったく負担と感じない 2=あまり負担を感じない 3=どちらともいえない 4=少し負担と感じている 5=非常に負担である

経費区分の説明	回答欄	経費区分の説明	回答欄
1. 学校教育費 ⇒学校教育のために各家庭が支出する経費		2. 学校外活動費 ⇒学校教育費以外に必要な教育費	
①修学旅行費、遠足費、見学費 等	1 2 3 4 5	①家庭内学習費 ⇒学習机、パソコンやソフト、参考図書費 等	1 2 3 4 5
②学級会費、児童会費、生徒会費 等	1 2 3 4 5	②家庭教師費 ⇒家庭教師の月謝、教材費、通信教育費 等	1 2 3 4 5
③PTA 会費	1 2 3 4 5	③学習塾費 ⇒入会金、月謝、模擬テスト代、交通費 等	1 2 3 4 5
④教科書以外図書 ⇒ドリル 等	1 2 3 4 5	④体験活動費 ⇒自治会等主催のキャンプなどの参加費 等	1 2 3 4 5
⑤学用品 ⇒文房具、体育用品、楽器 等	1 2 3 4 5	⑤芸術文化活動費 ⇒ピアノや舞踊などの月謝 等	1 2 3 4 5
⑥教科外活動費 ⇒クラブ活動の経費(遠征費を含む) 等	1 2 3 4 5	⑥スポーツ活動費 ⇒野球やサッカー教室などの月謝 等	1 2 3 4 5
⑦通学関係費 ⇒ランドセル、カバン、制服、バス代、自転車購入 等	1 2 3 4 5	⑦教養活動費 ⇒習字、英会話教室の月謝 等	1 2 3 4 5

Q4-3 全ての学習経費の中で、特に負担に感じている経費は何ですか？(経費名を記入、理由欄は1つに○)  
 経費名： \_\_\_\_\_ ←(Q4-2の経費区分の説明から選択し記入してください)  
 理由：1.金額が高い 2.教育に必要な 3.その他 ( )

Q4-4 経済的余裕があれば特に充実させたい経費は何ですか？(経費名を記入、理由欄は1つに○)  
 経費名： \_\_\_\_\_ ←(Q4-2の経費区分の説明から選択し記入してください)  
 理由：1.教育に必要である 2.子どもが望んでいる 3.その他 ( )

Q5-1 就学援助制度についてお聞きします。現在、就学援助を受けていますか？(1つに○)  
 1.受けている (Q5-4へ進んでください) 2.受けていない

Q5-2 Q5-1で「2.受けていない」と回答した理由は何ですか？(1つに○)  
 1.申請したが認定されなかった (Q5-4へ進んでください)  
 2.申請しなかった

Q5-3 Q5-2で「2.申請しなかった」と回答した理由は何ですか？(1つに○)  
 1.制度を知らなかった  
 2.申請を忘れていた  
 3.所得が認定基準より多く該当しないと自分で判断した  
 4.申請の必要性がない  
 5.その他 ( )

＜参考：就学援助制度とは＞  
 経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に学用品や給食費等を援助する制度です。生活保護世帯に準じた世帯を支給対象としています。  
 【支給例】  
 4人世帯(父母30代、小学4年生、中学1年生)、持ち家、世帯収入402万円の場合  
 平均支給年額は  
 小学生：約7.5万円 中学生：約11万円

…Q5 就学援助制度に関する質問のつづきです。就学援助制度を「受けている、受けていない」にかかわらず全員が回答してください。

Q5-4 あなたの家計の状況から考えて、就学援助制度などの公的な経済援助は必要だと思いますか？(1つに○)

1. 必ず必要 2. できれば必要 3. どちらともいえない 4. あまり必要ではない 5. 必要ではない

### — お子さんの食事の状況についてお聞かせください —

Q6-1 スクールランチを実施している中学校の方だけ回答してください。(1つに○)

スクールランチの利用状況についてお聞きます。

1. 毎日利用している (Q7-1へ進んでください) 2. 時々利用している 3. 利用していない

Q6-2 Q6-1で「2.時々利用している」「3.利用していない」と回答した方にお聞きます。

スクールランチを利用しない時は何を食べていますか？(1つに○)

1. 家庭から持参した弁当を食べている  
2. コンビニ等で購入したものを食べている  
3. 食べていない (理由： )

#### <参考:子ども食堂とは>

無料又は安価な参加費で食事が提供される  
子どもの居場所で、現在、本市では 23ヶ所の  
食堂が開設されています。

また、学習支援や遊びなどを通し地域交流  
の場にもなっています。

Q7-1 あなたは「子ども食堂」を知っていますか？(1つに○)

1. 知っていて、行ったことがある (お子さんを含めて)  
2. 知っているが、行ったことがない  
3. 知らない

Q7-2 Q7-1で「1.知っていて、行ったことがある(お子さんを含めて)」を選んだ方にお聞きます。

子ども食堂を利用する理由をお聞かせください(3つまで○)

1. 安価に栄養のある食事がとれる 4. 地域や大人と交流することができる  
2. 大勢で食事をすることができる 5. 友達と遊ぶことができる  
3. 宿題など学習をすることができる 6. その他 ( )

Q7-3 Q7-1で「2.知っているが行ったことがない」を選んだ方にお聞きます。

利用しない一番の理由は何ですか？(1つに○)

1. 近くにない 3. 利用することで貧困家庭と思われぬか心配  
2. 必要と思わない 4. その他 ( )

Q7-4 Q7-1で「3.知らない」を選んだ方にお聞きます。子ども食堂に行ってみたいと思いますか？(1つに○)

1. 行ってみたい 2. 行かなくてもよい

Q7-5 全ての方にお聞きます。子ども食堂に期待することは何ですか？(自由記述)

ご協力ありがとうございました

## 新潟市子どもの学習費等実態調査

### <調査票>

### 調査へのご協力をお願い

日ごろから、新潟市の教育支援事業にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新潟市教育委員会では、未来を担う子どもたちが家庭の経済状況等によって、就学の機会を失うことがないように、就学援助制度などの教育支援事業を行っています。

この調査は、昨年度に小学校や中学校の児童生徒がいた家庭の経済状況と学校や学校外での学習費の負担そして給食等の状況を調査し、今後の制度検討の基礎資料を得る大切な調査です。

調査をお願いする方は、昨年度中に小学校又は中学校に在学していた児童生徒をもつ家庭から無作為に選ばせていただきました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は、無記名でご回答いただき、お答えいただいた内容については全て統計的に処理し、個々の回答内容や、氏名住所などの個人情報に関わる内容が公表されたり、他の目的に使用されたりすることは一切ございません。

平成30年11月 新潟市教育委員会

### <<記入にあたってのお願い>>

- この調査は、あて名のお子さんについてお答えください。記入は、基本的に保護者の方をお願いします。
- 調査対象期間は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間としていきます。よって、現在小学校6年生の場合は、小学校5年生の時の内容についてお答えください。
- 回答方法は、次のとおりです。  
・該当する番号の数字を○で囲む ・設問により、金額や数字などを記入  
※「回答したくない」又は「わからない」ものは回答しなくても結構ですが、できるだけ回答にご協力をお願いします。
- 回答期限は、**平成30年12月3日**です。  
同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

#### 【調査に関するお問い合わせ先】

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1(白山浦庁舎)

新潟市教育委員会 学務課 電話：025-226-3168 FAX：025-230-0500